

## □最近の活動状況

## 【2024年度通常総会】

— 7月1日(月)ウェディングエルティ—

講師 ポストンコンサルティンググループ 日本共同代表 秋池 玲子 氏

テーマ 最近の経営課題と組織の運営

参加会員数 62名

21年前、産業再生機構の一員として熊本県のバス会社再生に携わった経験が、私の人生にとって非常に意義のあることでした。地方にとってバスは地域の存続に不可欠な存在です。今は当たり前のように言われている少子化や過疎化の問題ですが、当時はあまり議論されておらず、この問題と向き合い考える機会を得たことは良い経験になりました。

近年、企業を取り巻く環境は急速に変化しており、経営は非常に複雑になっています。日本企業の時価総額の変化を60年代、80年代、2000年代ごとにみると、徐々に振れ幅が大きくなっており、会社の業績が安定しないことが分かります。また、業績の企業間格差も拡大しています。加えて、営業利益首位企業が、首位を維持した割合は年々下がっています。経営者の方々は肌で感じていると思いますが、デジタル化の影響で事業環境が短期間で大きく変化するようになりました。経営者は、絶対的な正解がない中で意思決定を迫られ、その決定に対する説明責任も求められます。

このように日本企業を取り巻く外部環境は大きく変化しています。地政学動向、AIの進化、激変する気候問題など、変化はますます複雑化しスピードも速まっています。予測できない事態に備えるため、極端な想定の下で事業への影響を検討する「シナリオプランニ



講師 秋池 玲子 氏

ング」が重要になっています。例えば、人の移動が激減した場合の事業会社の戦略、燃料費が多くなった場合の経営対応、人口が大幅に減少した場合の事業継続策など、通常では考えられない極端な状況を想定し、それに対する対応策を事前に検討するアプローチです。この目的は、想定外の事態を減らし、万が一の際の対応を準備することで、リスク低減を図ることです。

現在の人材マネジメントには大きな変化が求められています。若い世代の価値観の変化によって、中期経営計画に人材育成の計画を盛り込む企業が増えています。若手社員のエンゲージメントを高め、成長機会の確保、多様な働き方の実現とキャリアパスの明確化が必要不可欠です。

組織が硬直化し、イノベーションが生まれにくくなった場合、組織風土改革が必要となります。改革の重要なポイントは、トップ自らが改革を主導する、計画策定プロセスに多くの社員を巻き込む、継続的な取組と進化、形骸化を避け常に組織を活性化することです。

激変する現代社会において企業は、変化への柔軟な対応、長期的視点での人材育成、組織の継続的な革新、社会的意義を意識した経営を実践する必要があります。(文責：事務局)



会場風景

【第14回朝食勉強会】

ー 8月21日(水) ウェディングエルティール

講師 一般社団法人日本ポジティブヘルス協会 代表理事 秋山 綾子 氏

テーマ 心臓ヨガ®～心臓を通して、“真の自分”とつながることの重要性～

参加会員数 47名

いわき市で生まれ、3歳から中学卒業まで喜多方市で過ごし、郡山市の高校に進学しました。陸上競技の経験から、大学では理学療法学を学びスポーツトレーナーを目指していましたが、兄の突然死をきっかけに「心臓」に関心を持ち、大学院と並行する形で北里大学病院心臓リハビリテーション室に約6年勤務しました。2018年に当協会を設立し「心臓ヨガ®」の講座をはじめ、企業研修などを行っています。コロナ禍序盤に喜多方市へUターン後は、市役所職員研修やワーケーションの推進を提案し、喜多方ワーケーション推進協議会を2021年に創設し地域での活動も行っています。



講師 秋山 綾子 氏

最近24時間で感謝したいことは何ですか？3つ挙げてください。良かったこと、うれしかったこと、些細なことでも構いません。夜寝る前に思い返して書き出してから眠りに就くと、睡眠の質が上がったり、疲労改善に繋がったりなどの影響が確認されています。また、心の落ち込みや不安を和らげる効果もあるのでぜひ試してみてください。

心臓に手を当てて、心臓に意識を向け、感じてみてください。心臓は1日に約10万回鼓動を打ち、全身にエネルギーを届け続け私たちの命を支えています。その心臓に「いつもありがとう」と心の中で伝えてみてください。心臓から送り出される血液に乗って、感謝の気持ちが心臓以外の臓器や全ての細胞にも行き渡る様子をイメージし、おだやかな時間を味わってみてください。

生まれる前から、私たちの命を支えてくれている存在に感謝の気持ちを持つことで、心拍リズムが整い、ストレスへの対処能力が高まると研究で示されています。反対に、ネガティブな感情や表現は心血管疾患のリスクを高めることも分かっています。

ヨガは単なる運動ではなく、幸せに生きるための実践哲学であり、心の働きを調整するものです。ヨガの八支則は、ヨガの実践における指針で、心、身体、真の自分に触れるステップです。自分とは何かを追求し、段階を踏んで成長していくことがヨガの在り方です。心臓ヨガは、心臓に集中することで、自分自身と対話し、エゴではない本来の自分を生きることができるようになります。「ハート磨き」を歯磨きのような日常の習慣にすることで、誰もが本当の自分を生きられる社会になれば素敵だと思います。(文責：事務局)

【第15回朝食勉強会】

ー 9月11日(水) ウェディングエルティール

講師 金水晶酒造株式会社 取締役会長 斎藤 美幸 氏

テーマ 日本酒は故郷の誇り～福島市唯一の造り酒屋を守りたい～

参加会員数 57名

1895年に福島市松川町で創業しました。創業当初は、奥州街道沿いということもあり旅籠を営んでいましたが、明治時代に酒造業に転換しました。名前の由

来は、蔵の近くに金山があり、そこに沸いた名水は水晶沢に流れていることから来ています。

2023年までは、明治時代から使用してきた古い蔵

で操業していました。この古い蔵は、若い男性従業員しか働けないほど重労働が求められる環境でした。しかし、2011年の東日本大震災、2021年と2022年の福島県沖地震の影響で、128年間使用してきた古い蔵は全壊判定を受けました。そのため、福島市荒井の「四季の里」の隣に新しい蔵を建設し、2024年に移転しました。

新しい蔵「四季の蔵」では、洗米機、蒸し釜、麴室などに最新鋭の機械設備を導入しました。温度や圧力などを数字で管理でき、米や酒の運搬等の省力化も進みました。また、冷房設備を完備し、1年中真冬と同じ環境で醸造できるようになりました。これにより、高品質化と効率化が図られ、熟練の蔵人の技術を若い蔵人に伝え、より良い酒を最適な環境で生産し続けられるようになりました。

移転を機に、これまで使用していた兵庫県産の山田錦をやめて100%福島県産米を使用し、アルコール添加をやめて純米酒造りに転換しています。また、商号を有限会社金水晶酒造店から金水晶酒造株式会社に変更し、長男が5代目社長に就任しました。

福島県は生産量では全国7位、酒蔵数では4位と、生産量や酒蔵数では他府県に及びません。しかし全国新酒鑑評会で9回連続日本一を達成するなど、品質面で高い評価を得ています。

私は「福島市唯一の酒蔵を残したい」と義務感から継

ぎました。お客様や先輩方の話を聞くうちに地酒には美味しさを超えた意味があると感じるようになりました。一つは地域の広報や文化の伝達機能です。もう一つは、地域の田んぼを守る機能です。食用米の消費が減るなか、地元の米を酒造りに使用することで地域経済に貢献することができます。

5代目は「福島を醸す」こと目指し、日本酒で福島の良さを更に広げ、深めていくことを決意しております。また、新商品開発にも力を入れ、桃やりんご等、福島の果物に日本酒を合わせたリキュールも発売しました。

これからも、日本酒を通じてふるさとの誇りを伝えていきたいと思います。福島の食文化の発展と醸造文化の振興を目指し、地元根差した経営を続けて参ります。  
(文責：事務局)



講師 高藤 美幸 氏

## 【定期講演会】

— 10月4日(金)ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) —

講 師 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 理事長 平井 俊邦 氏

テーマ “心の復興”に取り組み13年、次は— 日本フィルハーモニー交響楽団の新たな挑戦

(一財)とうほう地域総合研究所、(公財)福島県産業振興センターとの共催、(株)東邦銀行の協賛、福島民報社と福島民友新聞社の後援による定期講演会を開催し、会員の方をはじめ多くの方々が聴講しました。

日本フィルの歴史、オーケストラに対する社会からの要請、そして東日本大震災後の被災地支援活動についてなど説明しました。平井理事長は、音楽の力が人々の「心の復興」に大きな役割を果たすことを強調し、今後も地域と協働しながら活動を継続する考えを述べました。



講師 平井 俊邦 氏

【第47回経済同友会東北・北海道ブロック会議】

— 10月17日(木)ホテル青森—

東北6県と新潟県、北海道の経済同友会会員による東北・北海道ブロック会議が、青森市の「ホテル青森」にて開催されました。

今年は「人口減少!!この町はなくさない～人口減少の一途をたどる日本、課題先進地域からの提言～」をテーマに意見交換が行われ、「人口減少対策に取り組む地方を積極的に支援する」ことなどを盛り込んだ大会アピールを発表しました。

当会からは、林副代表幹事、中川常任幹事、立花会計監事、高城局長が参加しました。



感想を述べる林副代表幹事

□今後の予定

【新年懇談会】

日 時：2025年1月29日(水) 午後4時00分～ 講演会  
午後5時15分～ 懇親会

会 場：ウェディングエルティ

講 師：一般社団法人東北観光推進機構 理事長 紺野 純一 氏

テーマ：東北観光の現状と今後の取組み

【第19回朝食勉強会】日 時：2025年2月12日(水)

会 場：ウェディングエルティ

講 師：福島県企画調整部文化スポーツ局 局長 市村 尊広 氏

テーマ：文化・スポーツで地域を元気に！

【第20回朝食勉強会】(詳細決まり次第ご案内申し上げます)

日 時：2025年3月12日(水)

会 場：ウェディングエルティ

講 師：野村証券株式会社 金融公共公益法人部 主任研究員 和田 理都子 氏

□事務局だより

○2024年9月から2024年12月に変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

●退会 柳谷 葉一 野村証券(株)福島支店・支店長

引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(2024年12月13日現在 会員数102名)

編集日誌

◇謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。

◇昨年12月、福島県が初開催した「ボッチャふくしまカップ2024」に参加しました。

◇ボッチャは、性別や年齢、障がいの有無、運動の得意・不得意など関係なく、誰もが楽しめるスポーツです。ルールは「白いボール(ジャックボール)に自分のボールをどれだけ近づけられるか」非常にシンプルですが、「地上のカーリング」と言われるほど実は高度な頭脳戦が繰り広げられます。また、ボールをぶつけてジャックボールの位置を変えられるため、最後の最後までどうなるのか展開が読めません。

◇この大会には、3人一組の48チームが参加しました。私のチームは、タイブレイクにもつれ込む好勝負を演じるもあと一歩及ばず選取退という結果でした。どの試合も緊張感漂う白熱した戦いが繰り広げられていましたが、試合終了後には互いの健闘をたたえ合い握手をして交流を深めるなど、心温まる素晴らしい大会でした。(今野)